

2/21
朝日

高浜町議会 再稼働同意

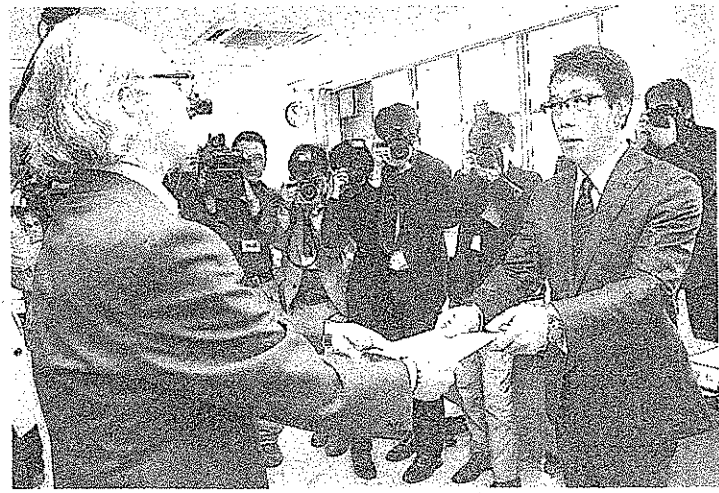
「重く受け止める」

町長、来月以降に判断

高浜町議会が20日、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働に同意し、野瀬町長に伝えた。14人による全員協議会の冒頭、的場輝夫議長が「町議会は同意することを野瀬町長にお伝えしたい」と議長案を提示、了承された。反対意見を述べたのは1人だけだった。

野瀬町長は的場議長から同意の文書を受け取った後、報道陣の取材に応じ、「議会の判断を重く受け止める。今後、(町としての意思を)判断する要素の中でそれなりのウエートを占める」と話した。町の判断時期については「4月以降」と述べ、知事選や県議選の後にする意向を表明。

町議会の同意以外の判断材料として、住民の意向や政府方針、広域避難計画策定の進み具合などを挙げた。



高浜町議会の全員協議会後、野瀬町長(右)に高浜原発3、4号機の再稼働に同意する文書を手渡す的場輝夫議長＝高浜町役場

これは誰が責任をとるのか。心中で不安に思っている住民も多く、議会の判断は憤けない」と憤った。

また、県内外の反原発団体が住民説明会の開催を求めてきたが、町は開催していない。代わりに原子力規制庁が作った審査合格の解説ビデオを、今月3日から15日まで町ケーブルテレビで放映。番組は原則1日6回各30分間で、規制庁の担当者が新規制基準や深刻な事故が起きた場合の対策を、図やイラストを織り交ぜて解説する内容だ。町は町民の質問を受け付け、15日までに意見も含めて寄せられた27件を規制庁に送り、回答を近く町ホームページに掲載する。区長会など町内の代表との意見交換会は開く方針だ。

「無責任」批判も

この日、町役場前では早朝から市民団体のメンバー約10人が横断幕を掲げ、「福島事故をもう一度思い出してほしい」と。再稼働

を認めないでください」と声を上げた。京都工業繊維大名誉教授の木原壮林さん(71)＝京都市＝は「取束していない福島事故を議会はどう考えているのか。あらゆる分野が絡む原発は専門家でも分かるものではない。再稼働に同意するのは無責任」と話した。

町民の反応も分かれる。無職の倉内務さん(74)は「再稼働には大賛成。原発がなければ町民の生活は苦しくなる。美浜や敦賀の原発が廃炉になったが、地元経済は厳しくなると思う」。一方、原発の危険性を指摘する主婦(60)は「町の経済のために再稼働した方がいいという意見はよく分かる。でも私は反対。これだけ地震が多い日本に原発を造るべきではなかった」と話した。

(大久保直樹、大野正智)